

麻生区役所太陽光発電所から自然エネルギーを普及させるために

## おひさまだより

発行 麻生区自然エネルギー活用促進事業実行委員会 2008年8月 vol.15

麻生区役所太陽光発電設備設置5周年記念フォーラム

「エコのまち麻生」  
をめざすまちづくり

開催：平成20年3月20日

## 目次

「エコのまち麻生」をめざすまちづくり・・・	1～3
第2回意見交換会開催・・・	3
第7回イベント「おひさまとあそぼう」・・・	3
ソーラクッカー調理実演会の報告・・・	4

麻生区自然エネルギー活用促進事業実行委員会では、標記フォーラムを開催しました。講演の趣旨については「おひさまだより vol.14」に掲載しているので、今号は、主に「意見交換会」で出された意見をふまえて、これからのまちづくりについての夢をキーワードとしてまとめてみました。

**基調講演：飯田哲也氏（環境エネルギー政策研究所所長）**

## 『自然エネルギーとまちづくり』

現在 世界のエネルギー源の根幹を成す石油価格は1バレル110ドルを超過し、史上最高値を更新中である。なお、石油生産量はピーク状況にあり、しかも消費量は増大しつつある。

持続可能エネルギー利用の原則として

1. 化石燃料の利用を減らす（省エネルギー）
  2. 自然エネルギー源を増やす。
- の両輪で進めなければならない。

これらに伴い世界諸国や日本の実情と種々の取り組みが紹介された。

**パネルディスカッション（パネラー：川崎市環境局と区内3グループの代表）**

川崎市・麻生区における「エコのまち麻生」をめざしたまちづくりに関する川崎市環境局と区内3グループによる活動状況が紹介された。



- ・川崎市環境局における地球温暖化対策への取り組み「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）」の紹介
- ・緑を愛し、緑を通じて区民が交流を図る活動（里地・里山フォーラム in 麻生）
- ・家庭ゴミを資源として活用する「あさお生きごみ隊」の活動状況
- ・自然エネルギー活用促進啓発活動（麻生区自然エネルギー活用促進事業実行委員会）

**意見交換会（参加者の発言要旨の一部紹介）**

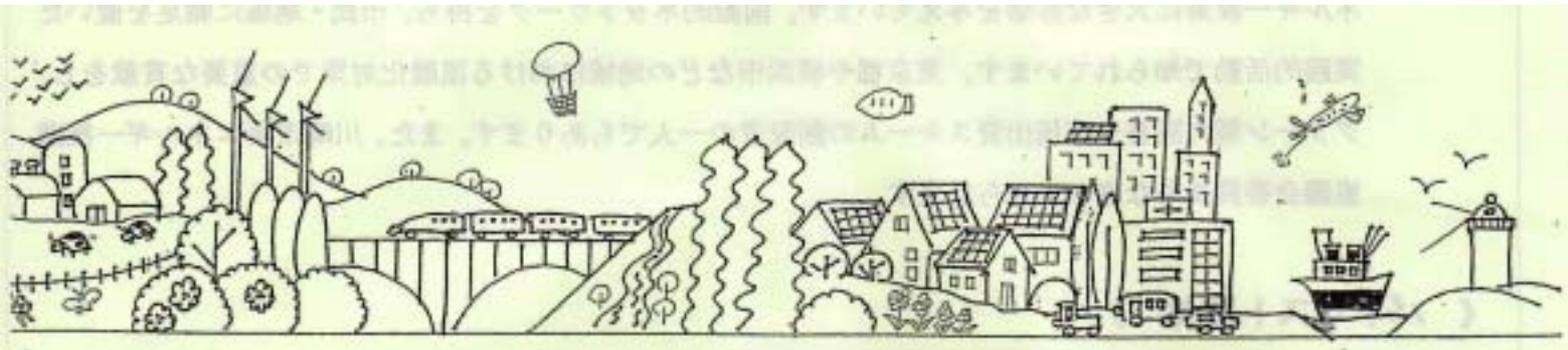
パネリスト・フォーラム参加者が一堂に会して意見を交換し、今後の夢と展望を述べあった。

- ・ 緑地保存（CO2削減）は、市民参加（緑地保存資金提供など）での実施が望ましい。
- ・ 市民参加は、動員型でなく自主参加型が望ましい。
- ・ 一般家庭でも思い切った生活の転換が必要である。（深夜放送、自家用車の使用、海外旅行などできるだけ控える。等）

- ・ 1980年代の生活レベルに戻る生活を心がけている。「エコのまち麻生」として、各種エコ施設（小水力太陽光・風力発電設備ほか）を巡る楽しいエコツアーというようなものを計画してはどうか。
- ・ 小学校の給食調理から排出する生ゴミを堆肥化して学校菜園に使い、収穫した野菜を給食に出す体験を通じてエコ教育をしてはどうか。
- ・ 消費者としては、少々割高であっても環境に配慮した製品を買い、また、地産地消を心がけたい。



( 瀧正太郎 記 )



## 「エコのまち麻生」をめざすまちづくり あなたはどんなまちにしたいですか！

### 1 どのようなまちをつくるのか。

今、地球温暖化という人類（生物）の生存に関わる問題はこの10年の取り組み如何によって未来が決まると云われており、緊急で最大の課題になっています。この解決にむけて、出来ることから始めようと私たち実行委員会は区役所と協働して「区役所屋上の太陽光発電所見学会」「小学校への出前授業」「イベントおひさまと遊ぼう」「あさお自然エネルギー学校」の開催などに取り組んできました。

また、区内では住みよいまちづくりを目指し「里地里山の緑の保全」「ごみ減量とリサイクル」「生ごみの堆肥化と農家の連携」「河川や水問題」「まちの美化」「車排ガスによる大気汚染」問題などボランティア、市民団体、町会、個人によりそれぞれの取り組みと努力がなされております。・・・でも・・・

### 2 まちづくりの具体的な姿が見えない！？

環境面からの「区のまちづくり」の姿なり目標が残念ながら見えていないというのが現状ではないでしょうか。そこでさまざまな活動をしている団体・個人および区民全体が連携しあい「エコのまち麻生」のまちづくりの目標なり姿を描いてみませんか。

### 3 「エコのまち麻生」の姿を皆で考えていきませんか

以上のような問題意識で、前掲の「フォーラム」を開催しました。パネルディスカッションや意見交換会で出された意見、願い、想いも含めて集約し、とりあえずキーワードになる項目にまとめてみました。

## キーワードになる項目

- イ 自然エネルギーの活用と省エネ（CO<sub>2</sub>を出さないエネルギーへの転換と省エネ）
  - 1) 公共施設への太陽光発電、雨水利用の促進（学校、保育園、共同住宅、病院、他）
  - 2) 新改築予定のマンション、ビル、駅舎などへの推奨（設置を標準仕様にする働きかけも）
  - 3) 市民共同発電所設置の検討（太陽光発電、小水力発電など）
- ロ 里地・里山および都市緑地の保全と復元（プレイパーク、都市景観も含め）
- ハ 緑の回廊やビオトープと景観（生態系の保全・復活含む）
- ニ ごみの削減とリサイクル（生ごみ堆肥化・活用と農業との連携なども）
- ホ 雨水利用と河川、上下水道問題（地下水涵養、ほたる親水公園、せせらぎ、）
- ヘ 車排ガスによる大気汚染と交通問題（自然エネルギー利用、公共交通、自転車と専用路）
- ト 環境およびまちづくりの学習・教育・発信
  - 1) 環境館（環境学習センター）の創設（ごみ、温暖化と自然エネルギー、緑、河川、上下水道、まちづくりの歴史・変遷・遺跡、他。学習・交流と発信）
  - 2) 小中学校での環境体験学習
  - 3) エコマップの作成とエコツアー
- チ その他（エコ憲章なども考える）

（伊藤清美 記）

## 第2回目の「意見交換会」開催

9月13日（土）の講座終了後に開催します。 意見や提案を出し合ひましょう

「あさお自然エネルギー学校 連続講座」（麻生区役所 地域振興課へお申し込みください）

第1回	8月23日（土）	エコライフ&スローライフの楽しい非電化
第2回	9月13日（土）	地球環境問題に地域はどう向き合うか
	講座終了後1時間程度「エコのまち麻生」を目指すまちづくり意見交換会	
第3回	10月18日（土）	わが家ではじめる太陽光発電
第4回	11月予定	自然エネルギー活用実例施設見学会（場所、時間未定）

会場）麻生区役所 時間）13:30～16:00 無料、  
ただし9月13日の意見交換会は16:00～17:00を予定（申込み不要）

## 第7回イベント 「おひさまと遊ぼう」

7月6日（日）

新百合ヶ丘駅

ペDESTリアンデッキにて実施

毎年、夏休みに麻生区役所広場においてソーラーパネルの展示や、ソーラークッカー（太陽光調理器）を使った調理実演、小学生を対象とした工作教室、環境クイズなど盛りだくさんのイベント「おひさまと遊ぼう」を開催してきました。

今年は場所を新百合ヶ丘駅南口に移し、ソーラークッカーの展示、ソーラーパネルを使ってラジカセ、イルミネーション、おもちゃ



を動かす、また環境クイズなどを行い通行人に地球温暖化防止とCO2を出さない自然エネルギーの活用をPRしました。

また当日は川崎市主催の「環境ミーティング」が昭和音楽大学で開催されました。この案内チラシも配布しました。

(伊藤清美 記)



## ソーラークッカー調理 実演会の報告

委員会ではソーラークッカーを5台持っているのですが(きらぴか2台、かるぴか1台、おやぴか1台、サンオープン1台)充分に活用出来ているとはいえない状況でした。そこで、新規加入委員の実習もかねて2008年5月21日に区役所屋上でソーラークッカーの調理実演会を行いました。

幸い当日は快晴で、「おひさま」に恵まれて、10時から12時まで、区役所の屋上にて実施しました。調理中には区役所地域振興課、企画課のみなさんも見学され、ソーラークッカーの威力に感心されていました。みんなで共有できたことは素晴らしいことです。



調理したものは以下の通りです。

- チョコレートケーキ(サンオープンで)、
- 炊き込みご飯(前半はおやぴかで、後半はサンオープンで)、
- 新ジャガイモの丸ごと焼き(きらぴか、おやぴかで)、
- 目玉焼き(きらぴかで)、
- ゆでたまご(きらぴかで)、
- サツマイモの焼き芋(きらぴか、サンオープンで)
- お湯(きらぴかで)でわかめスープ、緑茶、紅茶

12時から試食タイムとなり、みんなでとても美味しくいただきました。「自然エネルギーはすごい！」ことが実感できたと思います。これからも楽しみながら進めていきたいと思います。(飯田和子 記)

=== 編集後記 ===

麻生区の未来・・・頭の中で考えると、色々なことが浮かんできます。それらの夢を、夢として終わらせないためには、どうしたらいいのでしょうか。そういったことを含めて、これから皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。何か気がついたことがありましたら、どうぞご連絡ください。よろしく！(河野順子 記)

発行 : 麻生区自然エネルギー活用促進事業実行委員会(委員長 飯田和子)  
 編集担当 : 纈纈・児嶋・河野・伊藤  
 問い合わせ先 : 麻生区役所地域振興課 川崎市麻生区万福寺1-5-1  
 Tel044-965-5116 Fax 044-965-5201  
 発行日 : 2008年8月20日